



教育者向けの遠隔学習の方法

最終更新: 2020 年 3 月 19 日

Google のツールを利用して遠隔学習の一般的課題に対応する

病気や環境的要因で生徒が登校できない際に、Google のツールを活用して在宅学習を実現する方法をご紹介します。このガイドは、遠隔学習の方法に沿って詳しいリソースを示すために作成されたものです。遠隔学習の一般的な課題にテクノロジーで対応する方法について、理解を深めることができます。このガイドは、遠隔学習の方法に沿って詳しいリソースを示すために作成されたものです。詳しくは、[COVID-19 関連のリソースページ \(g.co/edu/covid19\)](https://www.google.co.jp/edu/covid19/) をご覧ください。このリソースの[付属スライド](#)と[ウェブセミナー](#)を次に示します。

参加の機会を増やす

バーチャル学習は、生徒が孤立したり、やる気をなくしたりする原因になることがあります。画面の前で何時間も動画を見ているうちに、生徒は早送りしたり、授業全体をスキップしてしまったりするかもしれません。遠隔学習中に魅力的な体験を生み出すには、さまざまなツールを使用し、創造の機会を与え、教師や他の生徒とやり取りできるようにする必要があります。この目標を達成する上で役立ついくつかのツールと方法を次にまとめます。

- a. **Google Meet:** チャット機能で授業中に生徒と会話することで、学習トピックに関するディスカッションに参加してもらうことができます。授業中にディスカッションのきっかけを与え、チャットを通じて生徒間でやり取りしてもらうことができます。
 - i. [Google Meet のスタートガイド](#)
 - ii. [Google Meet](#) のおすすめの使用方法
- b. **Jamboard:** 無料の Google [Jamboard](#) アプリを使えば、どこからでも生徒が連携できます。注: Jamboard には無料アプリとブラウザベースのバージョンがあります。
 - i. [Jamboard を試してみる](#)
- c. **インタラクティブなスライドやドキュメント:** ハイパーリンクやメディア コンテンツを活用したインタラクティブなスライドやドキュメントを作成し、活動やコンテンツの様式を多様化することができます。
 - i. [スライドを利用してインタラクティブなプレゼンテーションを行う](#)
 - ii. [Google ドキュメントのスタートガイド](#)
 - iii. [Google ドキュメントの使い方](#)
 - iv. [Google スライドのスタートガイド](#)
 - v. [Google スプレッドシートの使い方](#)
- d. **スライドの Q&A 機能:** スライドの Q&A 機能を利用して、授業中に生徒が質問や意見の共有をできるようにし、その一部をすべての生徒に表示して全員が反応できるようにします。
 - i. [スライドの Q&A 機能の使い方](#)
- e. **コンテンツの切り分け:** 30 分間の指導コンテンツがある場合、5 分間のミニレッスン 6 個に切り分けて、生徒が教材の内容を消化できるようにしたり、ディスカッション、ジャーナリング、コンテンツ作成で学習内容をまとめたりできるようにします。
- f. **頻繁に手を止めて理解を確認:** Google フォーム形式のテスト、Google Classroom の課題、ディスカッションを活用して、学習アクティビティ全体にわたる生徒の理解度をチェックします。「出席を取る」ことができないので、この方法で学習タスクの完了に責任を持たせ、生徒の進捗状況を確認します。
 - i. [Google フォームのスタートガイド](#)
 - ii. [Google フォームの使い方](#)
 - iii. [Google Classroom のスタートガイド](#)

- iv. [Google Classroom を使ってみる](#)
- v. [生徒の学業の成果をオンラインで公開する](#)

g. 実践演習を統合

- i. [Expeditions のスタートガイド](#)
- ii. [Google Arts & Culture](#)
- iii. [CS First](#)- 子供にコーディングを教える無料プログラム。動画をベースに生徒自身のペースで進められるので、遠隔学習に最適です。[CS First を使った教え方のトレーニング](#)
- iv. 遠隔学習を支援するためにパートナーが提供している内容については、[Chromebook App Hub](#) をご覧ください。
- v. [応用デジタルスキル](#): 教師の授業計画を含む自習型の動画レッスン。資産管理、履歴書の書き方、リサーチの仕方、Google ツールの使い方など、80 種類以上のレッスンが用意されています。
 - 1. [応用デジタルスキルを活用した教え方のトレーニング](#)
 - 2. [どこからでも学習するためのリソース](#)

生徒の学習状況を頻繁にチェック

教育者が生徒に日常的に会えない場合、より頻繁に、より意図的に理解度のチェックを行う必要があります。生徒の学習状況や理解度について定期的に情報を収集することで、遠隔学習計画で何がうまくいっており、どのような調整が必要なのかを把握できます。

- h. FormsEdu / テスト: Google フォーム形式のテストを使って形成的評価と総括的評価を作成すれば、生徒が自身の理解度をすぐに確認でき、教師の採点の負担を軽減できます。
 - i. [Google フォームのスタートガイド](#)
 - ii. [Google フォームを使用したテストの作成](#)
- i. スライドの Q&A 機能: スライドの Q&A 機能を利用して、授業中に生徒が質問や意見の共有を行えるようにし、その一部をすべての生徒に表示して全員が反応できるようにします。
 - i. [スライドの Q&A 機能の使い方](#)
- j. Google Classroom でのディスカッション: Google Classroom でのディスカッションに生徒を参加させ、参加状況を評価します。参加の種類に応じたルーブリックの提供も可能: 新しいアイデアの共有、以前のコメントに対する反応、質問の提起が可能です。
 - i. [Classroom トレーニングのスタートガイド](#)
 - ii. [ヘルプセンター](#)
 - iii. [コミュニティ フォーラム](#)
 - iv. [Classroom の仕組み](#)
 - v. [クラスを作成する](#)

vi. [課題を作成する](#)

k. Google Classroom での課題: Google Workspace の生産性向上ツールを活用した創造的な課題を生徒に割り当て、コラボレーションを促すタスク、創造的なタスクを通じて、コンセプトを習得したことを生徒が示せるようにします。たとえば、新しいトピックについて生徒がスライド資料を公開したり、大規模プロジェクトの予算を表示するためにスプレッドシートを作成したりできます。

i. [Classroom で課題を作成する](#)

Google Meet で学習提供の対象を拡大

教師は毎日教室で生徒の姿を見ることはできませんが、生徒はビデオを活用して教師の姿を見ることができます。以下のツールやアイデアを活用することで、オンライン上で生徒に教えることができるだけでなく、生徒にとって授業をより身近なものにするチャンスを増やすこともできます。

l. Google Meet を設定: 学校にいる間に Google Meet を設定してログイン方法を示し、一般的な問題をトラブルシューティングして、授業のリマインダーを設定しておきます。すでに休校になっている場合は、こうした手順を学習できる動画へのリンクを提供します。

i. [Google Meet を使ってつながり、こちらのおすすめの方法を実施してください。](#)

ii. または、[Chromebook を使って動画を撮影](#)することもできます。

m. Google Meet の字幕: この機能を活用すると、聴覚に障がいのある生徒でも授業中に音声による学習コンテンツに取り組めるようになります。英語を母語としない生徒のサポートも可能です。

i. [Google スライドで字幕を使用する方法](#)

ii. [Google Meet で字幕を使用する方法](#)

n. 予約枠: Google カレンダーの予約枠を使うと、「授業時間」を確保したり、1対1や少人数での教師との面談を生徒や保護者が申し込んだりできます。

i. [Google カレンダーで予約枠を作成する方法](#)

o. Meet を録画: Meet の録画機能を使うと、リアルタイムでログインできなかった生徒が学習にアクセスしたり、必要な生徒に授業を再度視聴して復習してもらったりできます。

i. [Google Meet の録画機能に関する管理者向けサポート記事](#)

SEL を組み込む

対人関係能力育成 (SEL) は、遠隔学習の場でも継続できます。Google Meet を使えば、生徒のために「その場にいる」ことで教室の環境を維持

し、学校を離れていても、生徒が思いを共有し整理する場を提供することができます。

- p. **Google フォームのムード チェックイン:** Google フォームを作成して生徒の心理的健康状況を確認できます。1日1回フォームに記入してもらうことで、生徒の感情の状態、その日の目標、よくできたと思うこと、難しいと思っていることを共有できます。条件付き書式の設定やアドオンの使用により、生徒の回答に懸念事項が含まれる場合にアラートを受け取り、該当する生徒と Google Meet を使って1対1で面談を行うことができます。
 - i. [Google フォームのスタートガイド](#)
- q. **Blogger での個人的なジャーナリング:** すべての生徒に個人的なブログの作成を続けさせ、学校を離れている間の自分の体験や感情を整理させます。生徒の希望により、教師と保護者を読者に設定することもできます。
 - i. [Blogger を使ってアイデアを集めて共有する](#)

時間枠にとらわれない学習

遠隔学習では、生徒を教室に急がせたり、ベルが鳴る前に急いで授業を終わらせたりといった、通常の学校の1日の時間的な制約を気にする必要はありません。生徒は、アクティビティによってはより多くの時間をかけたり、自分に合わせて授業を進めたりできます。この機会を利用して、講義やレッスンのスケジュールを固定するのではなく、「自分の学習内容を選択する」アクティビティをより多く取り入れるように授業を計画します。

- r. **Classroom に PBL を取り入れる:** 大規模なプロジェクトベース学習アクティビティの課題を与え、遠隔学習の柔軟性を活用します。科目をまたがって共同作業をするプロジェクトに生徒が参加し、これまでの知識を応用したり、自分で新しいトピックを探索したりできるようになります。
 - i. [グループワークを促進するトレーニング](#)
- s. **Google Expeditions でバーチャル校外学習に出る:** スマートフォンやデバイスで無料の Google Expeditions アプリを使って、家の「外に出て」世界を探索します。
 - i. [Google Expeditions スタートガイド](#)
 - ii. [AR 体験と VR 体験のリスト](#) (Google VR 体験には Google Cardboard が必要ですが、AR 体験にはこの [AR マーカー](#) を印刷して床に並べるだけです)
 - iii. [Google Expeditions を使ってバーチャル校外学習を作成するトレーニング](#)
 - iv. [Google マップを使ってバーチャル校外学習を作成するトレーニング](#)
- t. **Classroom で自分の学習内容を選択:** Google Classroom の課題を設定して、目標達成のためのさまざまなアクティビティを生徒が選択できるようにします。これにより、生徒が学習体験の中で選択し発言できるだけでなく、理解が追いついていない生徒の取り組みや参加状況の改善を見込むことができます。

- i. [個々に合わせた学習を実現するためのトレーニング](#)

インターネット接続のない環境での遠隔学習

言うまでもなく、すべての生徒が家でインターネットにアクセスできるわけではありません。教育者は、公平な学習機会を確保するため、WiFi へのアクセスに制限や困難がある生徒が遠隔学習を受けられる方法を探っています。それに役立つ方法をいくつかご紹介します。

- u. 補習のために録画を共有: 生徒がリアルタイムで授業に出席できない場合、Google Meet の授業内容を録画してドライブにアップロードし、Wi-Fi 接続時にアクセスできるようにします。生徒は録画をダウンロードして家で視聴できます。
- v. オフライン用スライド: 同様に、生徒にオフライン用スライドを有効にする方法を教え、学校にいる間などインターネット接続のあるうちに学習教材にアクセスできるようにします。生徒はオフラインでもコンテンツを確認できるようになり、新しいコンテンツを作成して再度オンラインになったときにアップロードすることもできます。
 - i. [Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドのオフラインモードでの使い方](#)
- w. 事前録画した授業をドライブで共有: 事前に授業を録画して Google ドライブに保存しておく、学校にいる間に生徒がダウンロードできます。

学習計画に関する保護者とのコミュニケーション

遠隔学習を始める際に、家族はかけがえのない支援システムになりえます。連絡やコミュニケーションを保つために明確で最新のチャンネルを作ることで、家族がチームの一員であると感じられるようにしましょう。

- x. 保護者向けのガイド: このガイドを家庭に送って Google のテクノロジーについて家族に知らせます。また、このメールテンプレートをカスタマイズして、選択したテクノロジーについて共有します。
 - i.

- y. **Google サイト**: Google サイトを作成し、休校中の主な情報源として利用できます。カレンダーを埋め込み、最新情報を投稿し、有益なリソースを共有できます。
- i. [Google サイトのスタートガイド](#)
 - ii. [Google サイトの使い方](#)
- z. **Google グループ**: クラスの保護者用に Google グループを作成して休校中の連絡手段にします。
- i. [Google グループの設定と管理に関する Google サポート記事](#)
- aa. **保護者向けの Google Meet**: 遠隔学習中に保護者と教師の面談機会を設けたり、保護者がツールになれていない場合に技術的なヒントを得られるように支援したりするには、予約枠の利用も有益です。
- i. [保護者とのコミュニケーション](#)
 - ii. [Google カレンダーで予約枠を作成する方法](#)
 - iii. [Google Meet のスタートガイド](#)
 - iv. [保護者とのコミュニケーションのトレーニング](#)
- bb. **Be Internet Awesome** を共有 - デジタル利用の心得とオンラインセキュリティ ガイドを家族と共有します。